GAGGENAU

取扱説明書

食器洗い機

DI 260 410

目次

安全上のご注意

〇ご使用の前に、この「安全上のご注意」を良くお読みの上、正しくお使いください。

〇絵表示について
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するものです。
また、注意事項は危険の大きさと切迫の程度を明示するため、誤った取り扱いをした場合に生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の２つに区分しています。

表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注意	誤った取扱いをすると、人が障害を負うまたは重傷を負う可能性および物的損害が想定される内容

図記号の意味は次の通りです。

	△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	〇記号は、禁止の行為があることを告げるものです。 図の中や付近に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
本体を他の人に譲渡されるときは、この取扱説明書を必ず添付してください。

⚠ 警告

本機を設置する前に

目で見て分かる外傷がないか確認をしてください。どんな状況においても、損傷した製品は使わないでください。
損傷した製品は危険な場合があります。

修理・分解・改造はしないでください。

食器洗い機の修理は必ず専門技術者にご依頼ください。不適切な修理を行なうと、お客様に著しい危険が生じる可能性があります。また、修理技術者以外は、分解や修理をしないでください。火災・感電・けがの原因になります。
修理は販売店、もしくはサービス店にご依頼ください。

機械に異常が発生したら

故障が生じたときはまず給水コックを閉め、機械のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
修理・点検は、必ず販売店、もしくはサービス店にご依頼ください。感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

本機は、設置施工手順書に従って、施工および接続を行ってください。

定格を守ってご使用ください。

仕様に表示された電圧でご使用ください。

本機は、必ず専用コンセントをご使用ください。
（単相200V 15A アース付き）

電気工事はすべて電気工事設備技術基準に準じて行ってください。

コンセント位置について

電源コンセントは、食器洗い機の設置後も簡単に手が届く場所にあり、いつでも電源から引き抜くことができるようにしておいてください。

延長コードで接続しないでください。

本機を延長コードで電源と接続した場合、本製品の安全性は保証されません。
過熱の恐れがあります。

電源コードを損傷、加工、無理に曲げる、引っ張る、束ねるなどのことはしないでください。
また重いものを乗せたり、挟み込むことにより電源コードが破損し火災・感電の原因になる場合があります。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。
火災や漏電の原因になります。

本体に水をかけないでください。

水につけたり、水をかけたりしないでください。
ショート・感電の恐れがあります。

運転中に衝撃を与えないでください。

運転中に衝撃を与えないでください。
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

⚠ 警告

必ず食器洗い機専用の洗剤および乾燥仕上剤のみをご使用ください。 台所中性洗剤は絶対に使わないでください。	食器洗い機内で溶剤を使用しないでください。 爆発する恐れがあります。
給水ホース内には電気が流れている電線がありますので、長すぎる場合も切らないでください。	排水ホースはしっかりと固定してください。ホースから漏れる水の力でホースが排水口から抜け、水浸しになる恐れがあります。

お子様へのご注意

□ お子様だけでのご使用は避けてください。またお子様が触らないようにご注意ください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

□ お子様のいるご家庭では、チャイルドロックのご使用をお勧めします。
（詳細は17ページに記載されています。）

□ お子様が中に入らないようにご注意ください。中からドアを開けることはできません。

□ 洗剤はお子様の手の届かないところに保管してください。食器洗い機用洗剤には腐食性や刺激性のある成分が含まれています。飲み込んだ場合洗剤が目や口、のどに強い刺激を与えたり、呼吸困難をきたす場合があります。
また、食器洗い機内の残留水に洗剤が残っている場合がありますので、ドアが開いている時は、お子様が食器洗い機に近づかないようにご注意ください。
もし、お子様が洗剤を飲み込んだり吸い込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。

□ 梱包材（フィルム、発泡スチロール等）は窒息を招く危険がありますので、お子様の手に触れないよう十分にご注意ください。

⚠ 注意

運転中はドアを開けないでください。 高温の湯気が出てやけどをすることがあります。また食器も高温になっていますので触らないようにしてください。	開いているドアに寄りかかったり、腰かけないでください。 機器の水平度が狂い、故障の原因になります。
使わない時はドアを閉めてください。 開いたドアに当たってけがをする恐れがありますので、食器の出し入れをするとき以外は常に閉めておくようご注意ください。	食器の取り出しやお手入れは、運転終了後内部が冷えてから行ってください。 やけどや食器の破損の恐れがあります。
ドアの開閉時に、指や手をドアやヒンジにはさまれないようご注意ください。 けがをする恐れがあります。	本機には水漏れ防止システムがついています。通常は運転していない時も電源プラグは抜かないでください。
長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを抜いて必ず止水栓を閉めてください。 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず先端の電源プラグを持ってください。 コードを引っ張ると感電やショートにより発火する可能性があります。
本機を電気クッカーの下に設置しないでください。電気クッカーによる高い放射温度によって食器洗い機が破損することがあります。また直火やヒーターのように熱を発する他の器具のそばにも設置しないでください。	電源コード、給水ホース、排水ホース、コントロールパネルなど機器に損傷がある場合は、危険ですので使用しないでください。

各部の名称

コントロールパネル

1	電源スイッチ
2	プログラムキー AUTO 35°–45° AUTO 45°–65° AUTO 65°–75° エコ 50° 高速 45° 前洗い
3	取っ手
4	タイマー予約キー
5	追加機能キー » ターボ機能（時間短縮） 洗い分け機能
6	スタートキー
7	給水確認表示
8	塩コンテナ確認表示（日本では使用しません）
9	リンス剤補充表示
10	数字表示ディスプレイ
11	作動表示ランプ

各部の名称

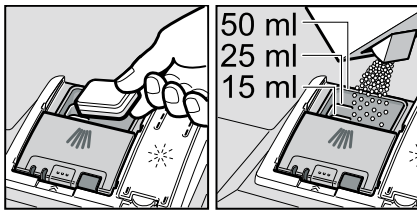
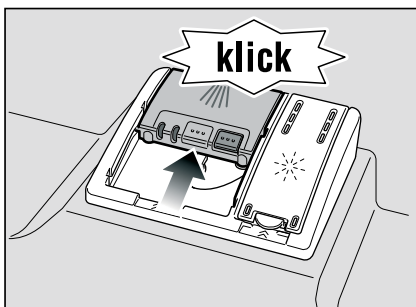
内部

21	カトラリートレイ	28	カトラリーバスケット
22	上段バスケット	29	下段バスケット
23	上部スプレーアーム	30	リンス剤投入口
24	タブレット洗剤受け	31	洗剤ケース
25	下部スプレーアーム	32	洗剤ケースロック
26	塩コンテナ 軟水装置（日本では使用しません）	33	認証ラベル
27	フィルター		

洗剤について

- 洗剤は必ず食器洗い機専用のものをお使いください。
- 洗剤はプログラム開始前に洗剤ケース 31 に入れてください。
- 洗剤はプログラムの途中で自動的に投入されます。
- 洗剤の量は洗剤のパッケージに記載されているメーカー推奨の量を参考にしてください。

■ 洗剤の入れ方

1 洗剤ケースロック 32 を押して洗剤ケース 31 を開けてください。
洗剤入れが乾燥しているか確認して、洗剤入れ内部の目盛を参考に洗剤を入れてください。
一般的に通常の汚れの場合は 20ml - 25ml 入れてください。

2 カチッと音がするまで押し上げて洗剤入れのカバーを確実に閉じてください。

洗剤入れはプログラム中の最適な時点で自動的に開き、粉末洗剤、液体洗剤が庫内に投入されます。タブレット洗剤はタブレット洗剤受 24 に入り溶解します。

食器について

■ 食器洗い機洗浄に適さないもの

- 木製のカトラリーや食器
- 繊細な装飾的なグラス、芸術や骨とう品としての価値がある食器
- 耐熱性のないプラスチック類
- 銅やスズ製の食器
- 灰やロウ、潤滑油やペンキで汚れた食器

ガラス装飾やアルミニウム、銀の部分は、洗浄すると変色や脱色が起きる場合があります。
またガラスは洗浄を重ねると曇る場合があります。

■ 食器の入れ方

- 残飯は取り除いてください。水道水での前洗いは不要です。
- 皿は立てて入れ、鉢状の食器は下向きに入れてください。
- 糸尻がある食器は糸尻に水がたまらないように斜めに入れてください。
- 上下のスプレーアーム 23 25 の回転を妨げないよう注意してください。

非常に小さい食器や食器の付属品はバスケットから落ちる可能性があります。カトラリーバスケット 28 に入れて洗う等工夫をしてください。

■ 食器の取出し方

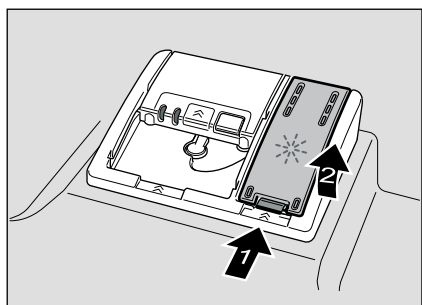
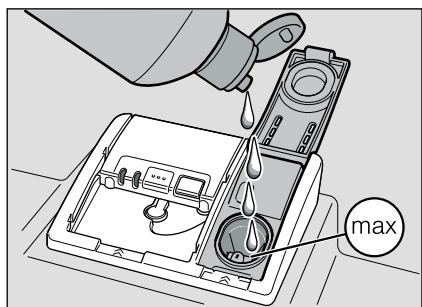
- 上段バスケットの水滴が下段バスケットの食器の上に落ちないよう、食器は下段バスケットから先に出してください。
- プログラム終了直後の食器は非常に熱くなっています。手で直接触れるくらいまで冷まして取り出してください。

リンス剤について

リンス剤には水滴の表面張力を緩める働きがあるので、水滴は流れやすくなりその結果乾燥しやすくなります。
リンス剤は洗浄プログラム中の最終すすぎの時点であらかじめ設定した量が投入されます。
リンス剤はコンテナに一定量入れてありますので食器洗い機を運転するたびに入れる必要はありません。

■ リンス剤の補充

表示ディスプレイの「リンス補充表示」 9 が点灯したら、リンス剤を補充してください。

1 リンス剤投入口 30 のフタの 1 を押して持ち上げて開けてください。

2 リンス剤を注意して補充口の最大表示まで入れてください。

3 カチッと音がするまでフタ閉じてください。

4 こぼれたリンス剤は布で拭き取ってください。
こぼれたままにすると次の洗浄の際泡が発生する恐れがあります。

■ リンス剤量の設定

リンス剤の投入量はr:00からr:06まで設定可能です。乾燥の効果が十分に発揮できるr:04に設定すると効果的です。初期設定ではr:04に合わせてあります。

リンス剤の量は、水滴(量が少ない)あるいは水あか(量が多い)が食器に残る場合のみ変更してください。

1 ドアを閉じる。

2 メインスイッチ 1 を押してください。

3 プログラムキー A を押したまま H:0... という数字表示が出るまでスタートキー 6 を押してください。

4 両方のキーを離してください。
A キーの照明表示が点滅し、数字表示 10 に工場出荷時に設定されたH:04が点灯します。

5 工場出荷時の設定値r:04が数字表示 10 に表示されるまで、プログラムキー A を押し続けてください。

設定変更：

1 プログラムキー C を押してください。
キーを押すたびに設定値が一つずつ増えます。
r:06の次はr:00(オフ)に戻ります。

2 スタートキー 6 を押すと設定が保存されます。

● リンス剤が含まれた洗剤を使用する場合

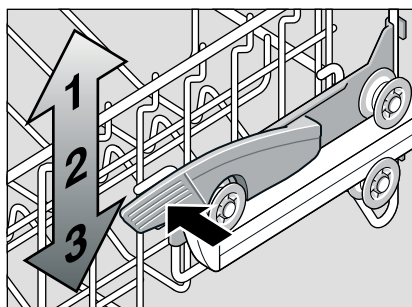
「リンス剤量の設定変更」の手順に従い値をr:00(オフ)に設定してください。
リンス剤が入っていなくても「リンス剤補充表示」は表示されません。

内部の配置

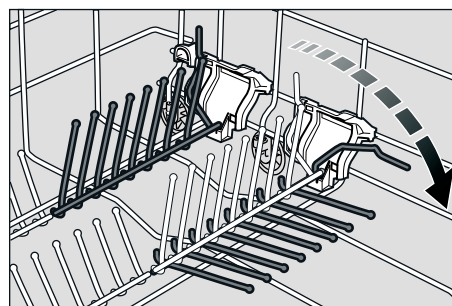
上段バスケット 22

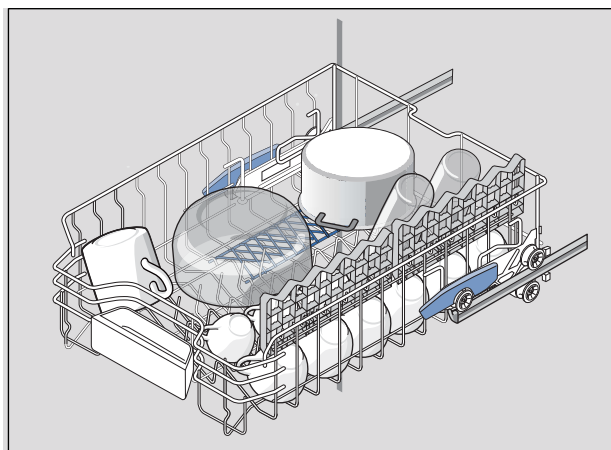
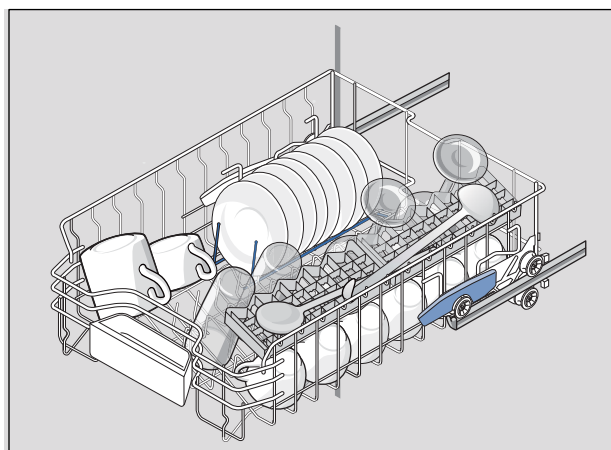
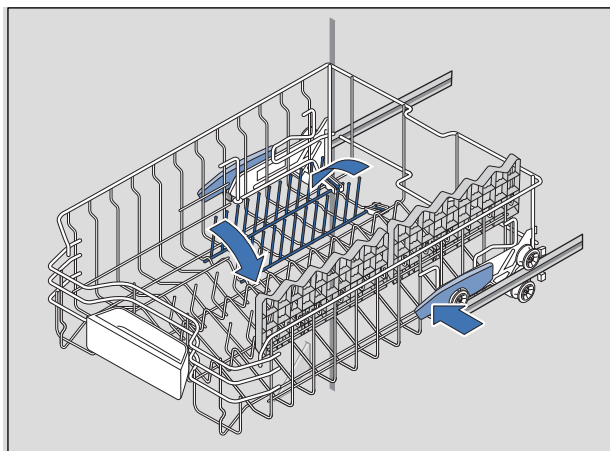
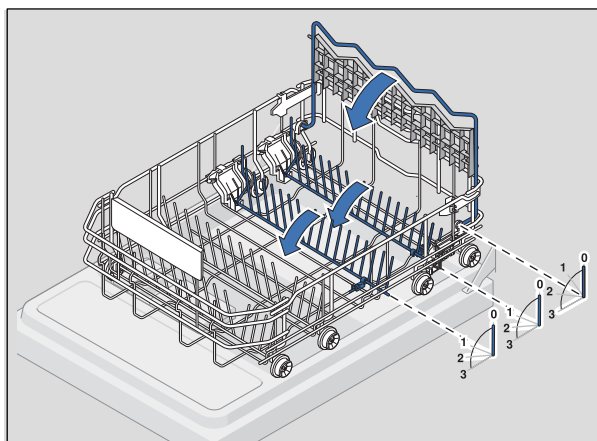
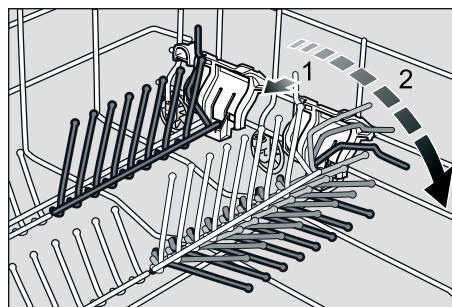
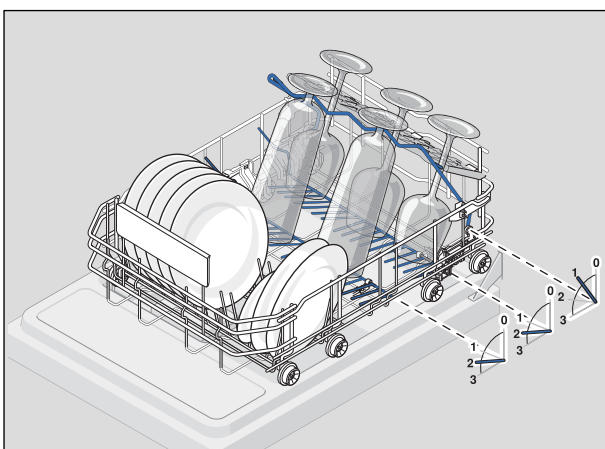
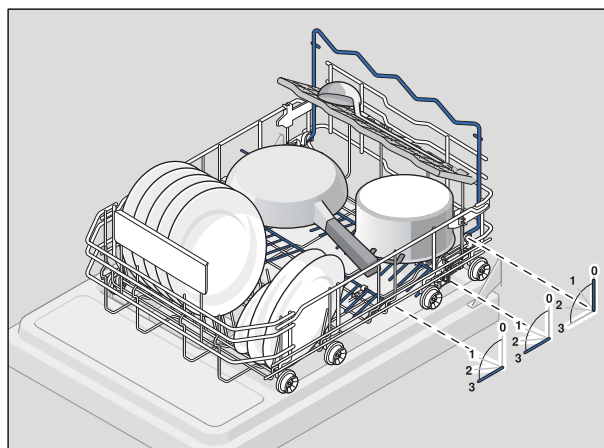
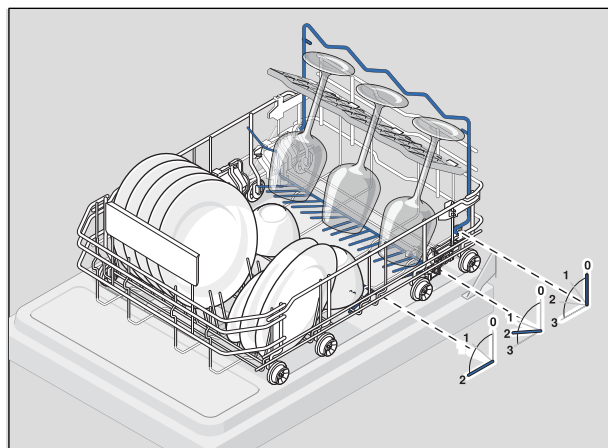
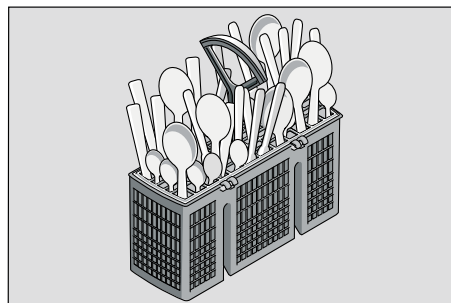
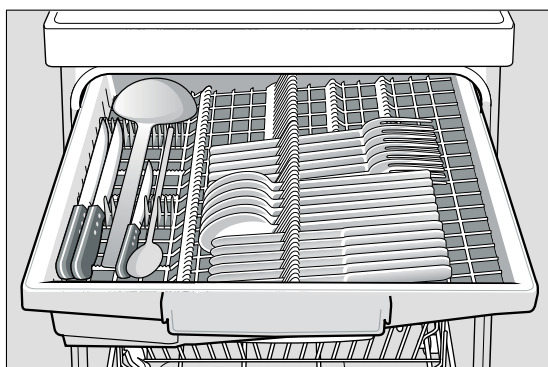
● 上段バスケットの高さ調節

上段バスケットは必要に応じて3段階に高さを変えて、スペースを広げることができます。

1. 上段バスケットを引き出してください。
2. バスケットを下げる時は、左右両方のレバーをバスケットの外側から内側に押してください。
   この際にバスケットの上部を支えて突然落下しないようにしてください。

3. バスケットを上げる時は、上部をつかんで上に引っ張ってください。
4. 高さ調節をした後は、両側が同じ高さになっているかを確認してください。同じ高さでない場合は上部アームスプレーの給水接続ができず、またドアも閉まりません。

	上部 バスケット	下部 バスケット
第1段階　最大 ϕ	14cm	30cm
第2段階　最大 ϕ	16cm	28cm
第3段階　最大 ϕ	19cm	25cm

● 折りたたみピン

ピンは折りたたみができます。
入れるものの形状によってスペースを自由にアレンジすることができます。

下段バスケット 29

● 折りたたみピン

ピンは折りたたみができます。
3段階で角度で固定できるので、入れるものの形状によってスペースを自由にアレンジすることができます。

● カトラリーバスケット

カトラリーを入れる際、常に方向を揃えて入るのではなく、汚れが落ちやすいように向きをランダムに入れてください。
長くとがったものやナイフ・包丁類は、危険ですのでカトラリートレイに入れてください。

カトラリートレイ 21

箸・スプーンなどのカトラリー類を図のように入れて洗浄します。
包丁やお玉などの調理器具も入ります。
また、小さい食器を入れる場所としても使えます。

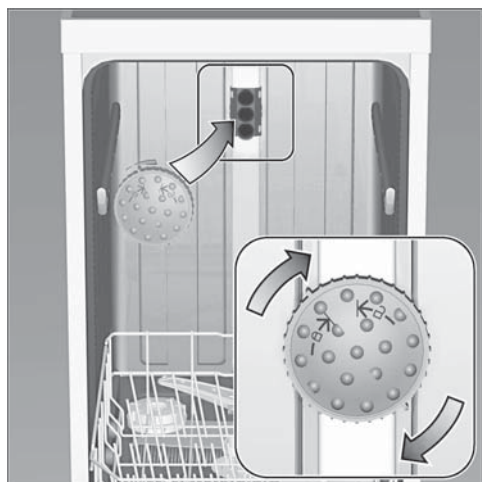
● カトラリートレイの取り外し方

1. カトラリートレイを一番前まで引き出してください。
2. カトラリートレイの手前を上に持ち上げて、そのまま引き出してください。

● カトラリートレイの取り付け方

取り外しの逆の手順で取り付けてください。

ベイキングトレイ洗浄用スプレーヘッド

直径30cmを越える大きなトレイ・グリッド・お皿を立てて洗浄することができます。

上段バスケットを取り外し、図のようにスプレーヘッドを取り付けてください。
スプレー噴射が全体にかかるよう、上図のようにゆとりを持って入れてください。

● 上段バスケットの取り外し方

1. 上段バスケットを一番前まで引き出してください。
2. バスケットの手前を上に持ち上げて、そのまま引き出してください。

● 上段バスケットの取り付け方

取り外しの逆の手順で取り付けてください。

洗浄プログラム

プログラム	AUTO 65℃–75℃	AUTO 45℃–65℃	エコ 50℃	AUTO 35℃–45℃	クイック 45℃	予備洗い
食器の種類	– 鍋・フライパン・調理器具 – 特に壊れやすいわけではない食器・箸・カトラリー	– 鍋・フライパン・調理器具 – 食器・箸・カトラリー		– 壊れやすい食器・箸・カトラリー類 – 温度に敏感なプラスチックやガラス製品		すべて
汚れの種類程度	– 非常にこびりついた汚れ – 非常に乾燥した汚れ	– 家庭で通常出る範囲の普通の汚れ – 多少乾燥した汚れ		– こびり付きなどない軽い汚れ		すべて
追加機能	– 洗い分け – ターボ（時間短縮）					なし
運転内容	食器の量や汚れをセンサーが感知して、最適な洗浄時間・使用水量・洗浄温度を自動的に設定し運転します		– 前洗い – 主洗浄 50℃ – 中間すすぎ – 最終すすぎ – 乾燥	食器の量や汚れをセンサーが感知して、最適な洗浄時間・使用水量・洗浄温度を自動的に設定し運転します	– 主洗浄 45℃ – 中間すすぎ – 最終すすぎ	後でまとめて洗うための予備洗い
所要時間 (時間: 分)	← 3:05 - 1:05 →				0:29	0:15
消費電力量 (kWh)	← 1.35 - 0.60 →				0.70	0.05
使用水量 (リットル)	← 16 - 7 →				9	3

＊「所要時間」「消費電力量」「使用水量」はヨーロッパ基準N50242に基づいた作業計測値です。実際には異なる値となる場合があります。

■ アクアセンサー

AUTOプログラムではアクアセンサーの働きでプログラムが進行します。
アクアセンサーは洗浄水の濁り具合によって食器の汚れ具合を判定します。
プログラムの種類によって進行は異なりますが、アクアセンサーが起動すると、ひとつのプロセスで洗浄した後まだ洗浄水の汚れが少なければ次のプロセスでもこれを使用したり（3-6リットルの節水になります。）
逆に汚れがひどい場合は一度排水して水の入れ替えをします。
AUTOプログラムではさらに、汚れ具合や食器の量によって洗浄温度や運転時間も調整されます。

操作方法

■ プログラムの開始

1. 最初のご使用の際は、給水バルブが完全に開いているか確認してください。
2. ドアを開けて食器を入れてください。
3. 電源スイッチ 1 を押してください。
4. 「エコ 50℃」プログラム表示が点滅しますので、使用したいプログラムを選択してください。
数字表示ディスプレイ 10 に所要時間が点滅します。
5. スタートキー 6 押してください。

■ プログラムの終了

プログラムが終了すると 0:00 が表示され、さらに1分後に電源がオフになります。
終了後ドアを開けると乾燥がより促進されます。

⚠ 警告

プログラムの終了後ドアを開ける際は、中途半端ではなく完全に開けてください。
排出される蒸気が敏感なコントロールパネルに損傷を与える可能性があります。

操作方法

■ プログラムの中断

1. 電源スイッチ 1 をオフにする。
   作動表示ランプは消えますが、プログラムは保存されます。
2. プログラムを継続するときは、電源スイッチ 1 を再度押してください。

> ⚠ 警告
> 機器内部が熱くなっている時にドアを開けた場合は、まずは庫内の温度が下がるまで数分間ドアを半開きのままにしておいてください。
> そのまますぐにドアを閉めると内部が過圧状態になり、ドアが開いて水が流れ出す可能性があります。

■ プログラムのリセット

1. スタートキー 6 を 3 秒間押してください。
   数字表示ディスプレイ 10 に 0:01が表示されます。
   庫内の水が排水され、1分後に0:00と表示されます。
2. 電源スイッチ 1 をオフにしてください。

■ プログラムの変更

スタートキー 6 を押したあとは、プログラム選択はできなくなります。
プログラムの変更は、プログラムのリセット後、新たに選択してください。

追加機能

洗い分け機能

汚れ具合の違う食器や鍋･フライパンなどを洗う時に最適です。
通常の汚れの食器は上段バスケットに、下段バスケットには汚れのひどい食器や鍋･フライパンを入れてください。
この機能を使うと下段バスケットのスプレー圧力と洗浄温度が上がり、同時に違う汚れ具合のものを洗い分けることができます。

≫ ターボ機能

洗浄プログラムの運転時間を短縮します。
選択したプログラムにより異なりますが、運転時間を20%～50%短縮し、それぞれの運転時間は数字表示ディスプレイ 10 に表示されます。
運転時間を短縮するために水量と電力使用量が通常運転より多くなります。

タイマー予約

■ 設定

1. ドアを閉じて、電源スイッチ 1 を押しください。
2. ご希望のプログラムを選択してください。
3. タイマー予約キー 4 を使って何時間後に運転を始めるか設定してください。
   数字表示ディスプレイ運転を始めるまでの時間が表示されます。（1時間後ならh:01と表示されます）
4. スタートキー 6 を押すとタイマー予約がスタートします。

■ 解除

1. h:00 が表示されるまでタイマー予約キー 4 を押してください。

開始まではプログラム選択を自由に変更することができます。

集中乾燥

リンス剤を加えた最終すすぎで、より高い温度で作業が行われるので、より良い乾燥が得られます。
運転時間はわずかに長くなります。（熱に弱い食器は特にご注意ください。）
出荷時は集中乾燥オンに設定されています。

1. ドアを閉じて、電源スイッチ 1 を押しください。
2. プログラムキー A を押したまま、H:0...という表示が出るまでスタートキー 6 を押してください。
3. H:0... が表示されたら両方のキーを離してください。
   A キーの作動表示ランプが点滅し、10 数字表示ディスプレイに工場出荷時に設定された H:04 が表示されます。
4. 工場出荷時の設定値 d:00 が数字表示ディスプレイ 10 に表示されるまで、プログラムキー A を繰り返し押し続けてください。

設定の変更：

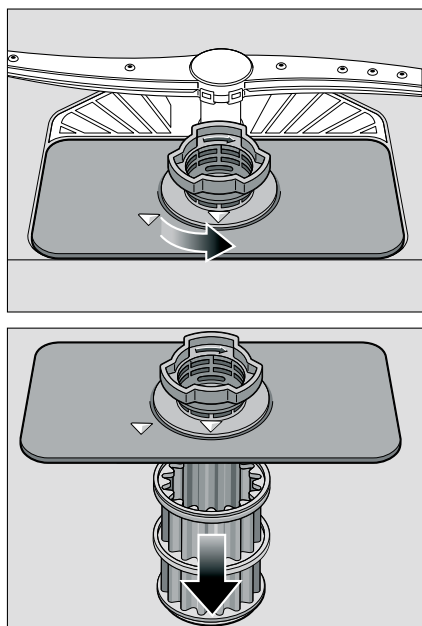
C キーを押すと、集中乾燥オフ d:00 あるいは集中乾燥オン d:01 に設定することができます。
スタートキー 6 を押すと設定値は保存されます･

お手入れについて

フィルター

フィルターシステムは3つの異なった目のフィルターで構成されています。
フィルターはご使用のたびに水道水で洗い流してください。

■　取り外し方

フィルターシリンダーを図のように回転させ、取り外してください。

■　取り付け方

取り外した時と逆の手順で取り付けてください。
取り付け終わった時に、矢印マークの先端が相対していることを確認してください。

内部とコントロールパネル

■　内部の洗浄

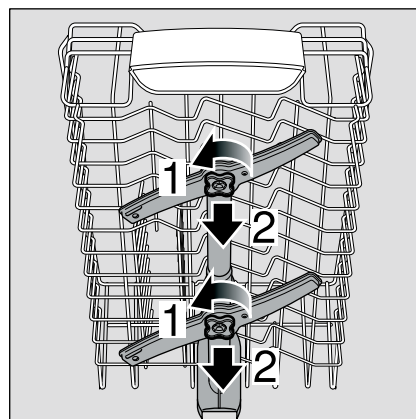
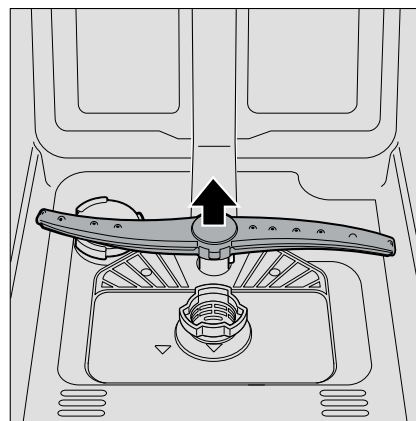
水あかや油が付いた場合は、洗剤入れに洗剤を満タンに入れて、食器を入れずに「AUTO 65℃−75℃」で洗ってください。
食器洗い機用の洗剤以外は決して使わないでください。

■　コントロールパネル

少量の洗剤を溶いた水で湿らせた布を使って軽く拭いてください。
ナイロンたわしや研磨剤の入った洗剤は使わないでください。
お手入れの後は、乾いた布で水分を拭き取ってください。

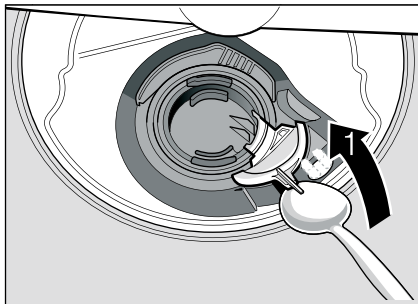
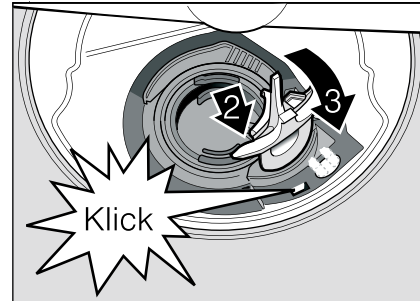
スプレーアーム

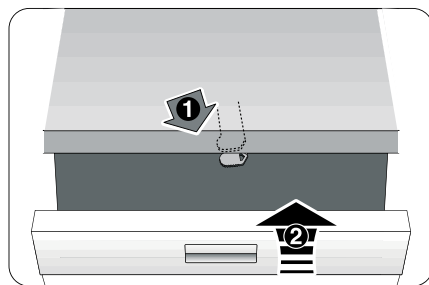
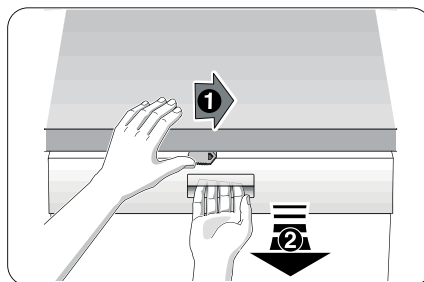
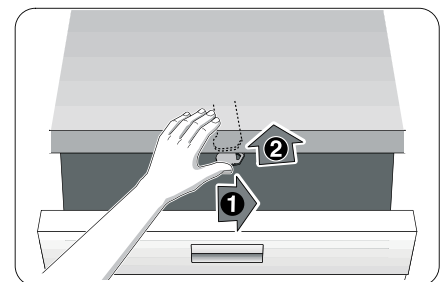
水あかや残菜などがスプレーアームのノズルや軸受を詰まらせる場合があります。
詰まると洗浄力が落ちますので定期的なお手入れをお勧めします。

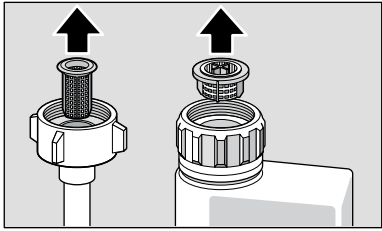
1.　スプレーアームのノズルが詰まっていないか点検してください。
2.　上部スプレーアーム 23 をねじって取り外してください。（4分の1回転させる）

3.　下部スプレーアーム 25 を上に引いてください。

4.　スプレーアームを水道水で洗ってください。
5.　取り外した時と逆の手順で取り付けてください。

排水ポンプ

排水ポンプ内に食べ物の大きい残菜や異物が誤って入り、排水されなくなった場合の除去方法

1. 電源プラグを抜くか、ブレーカーを落としてください。
   上段バスケット　 と下段バスケット　 を外してください。
2. フィルター　 を取り外してください。
   スポンジなどを使ってたまった水を取り除いてください。
3. 白いポンプカバー（図を参照）をスプーンで持ち上げてく
4. ださい。カバーの棒部分をつかみ傾けながら内側に持ち上げてください。
5. カバーが完全に外れます。

6. 回転羽に異物が付着していないか点検し、もしあれば取り除いてください。
7. カバーを元の位置に収め、カチッと音がするまで押して固定してください。

8. フィルターを取り付けてください。
9. 上部バスケットと下部バスケットを取り付けてください。

チャイルドロック （ドアの施錠）

41

42

43

お子様が食器洗い機のドアを開けるのを防ぐためには、チャイルドロックを使用してください。

■ ドアをロックする。　（ 図 41 ）

- レバーを手前に引いてください。
- ドアを閉めてください。

■ ロックを解除する。

- レバーを右へスライドさせたままドアを開いてください。（ 図 42 ）
- レバーを右にスライドさせ、レバーを押し込んでください。（ 図 43 ）

故障かな？と思ったら

症　　状	考えられる原因	処置方法
電源スイッチを押しても、 機器が作動しない。	– ブレーカーが「切」になっている。 – 電源プラグが抜けている。 – ドアがきちんと閉じていない。	– ブレーカーを「入」にする。 – 電源プラグを差し込む。 – ドアをきちんと閉める。
ドアが開きにくい。	– チャイルドロックが解除されていない。	– チャイルドロックを解除してください。 （17 ページ参照）
ドアが閉まらない。	– ドアロックが作動している。	– ドアロックをリセットするには、強く押して閉めてください。
洗剤ケースのカバーが閉じない。	– 洗剤ケースに洗剤を入れすぎている。 – 洗剤が固まっている。	– 洗剤は適量を入れてください。 – 固まった洗剤を取り除いてください。
洗剤ケースに洗剤が残っている。	– 洗剤を入れる時、洗剤ケースの中が濡れていた。	– 必ず洗剤ケースの中が乾燥しているか確認してから洗剤をいれてください。
ディスプレイ上に 7 給水確認表示が点灯した	– 給水バルブが閉まっている。 – 給水が中断した。 – 給水ホースが折れ曲がっている。 – 給水部のフィルターが詰まっている。	– 給水バルブを開けてください。 – 給水が中断した原因を確認してください。 – 給水ホースを点検してください。 – ● 機器の電源スイッチをオフにするか電源プラグを抜いてください。 ● 給水バルブを閉めてください。 ● 接続ホース内のフィルターを洗ってください。 ● 電源プラグを差し込んでください。 ● 給水バルブを開いてください。 ● 機器の電源スイッチをオンにしてください。

故障かな？と思ったら

症　　状	考えられる原因	処置方法
プログラムが終了しても水が食器洗い機内に残っている。	– 排水ホースが詰っているか曲がっている。（E:24） – 排水ホースが詰っており、排水ホースのカバーが閉まらない。（E:25） – 27 フィルターが詰まっている。 – プログラムが終了していない。	– 排水ホースの確認をしてください。 – 排水ポンプの確認をしてください。（17 ページ） – フィルターを洗ってください。 – プログラムの終了を待つか、プログラムをリセットしてください。（15 ページ）
異常に泡立っている。	食器洗い機用以外の洗剤を使っている。	泡がなくなるまで取り除き、洗剤分がなくなるまで拭き取ってください。
洗浄中に運転が停止する。	– 電力の供給が中断された。 – 給水が中断された。	– 電力供給が中断した原因を確認してください。 – 給水が中断した原因を確認してください。
洗浄の最中にぶつかるような音がする。	– スプレーアームが食器に当たっている。 – 食器の入れ方が不安定なためぐらついている。	– スプレーアームに当たらないように食器を入れ直してください。 – 食器を入れ直してください。
食器が洗えていない。	– 洗剤が少なすぎる。 – 洗浄プログラムが適切でない。弱すぎる。 – スプレーアームの回転が妨げられている。 – スプレーアームのノズルが詰っている。 – フィルターが詰っている。 – フィルターの取り付け方法が間違っている。 – 排水ポンプがブロックしている。 – 上部バスケットの左右が同じ高さにセットされていない。	– 洗剤を適量入れてください。 – 適切なプログラムを選択してください。（14 ページ） – スプレーアームが当たっているものを取り除いてください。 – スプレーアームを洗ってください。（16 ページ） – フィルターを洗ってください。（16 ページ） – フィルターを正しく取り付けてください。（16 ページ） – 排水ポンプの点検をしてください。（17 ページ） – 上段バスケットを左右同じ高さになるようセットし直してください。（11 ページ）
茶渋や口紅が完全にとれない。	– 選択したプログラムの洗浄温度が低い。 – 使用している洗剤の漂白効果が弱い。 – 洗剤の量が少なすぎる。	– 洗浄温度が高いプログラムを選んでください。 – 洗剤を変えてください。 – 洗剤を適量入れてください。

故障かな？と思ったら

症　　状	考えられる原因	処置方法
食器やグラスに白いシミが残る。	– 洗剤が少なすぎるか不適切。 – 洗浄プログラムが適切でない。 弱すぎる。 – リンス剤がないか少なすぎる。	– 洗剤を適量入れるか、 洗剤を変えてください。 – 適切なプログラムを選択してください。（15 ページ） – リンス剤を補充するか、 リンス剤の量を調節してください。
グラスのツヤがなくなり変色している。 膜を拭き取ることができない。	そのグラスは、 食器洗い機で洗えない。	グラスの表面が冒されてしまったため処置方法はありません。
プラスチック製品が変色した。	洗剤が少なすぎるか不適切。	洗剤を適量入れるか、 洗剤を変えてください。 変色を元に戻すことはできません。
食器が乾かない。	– 運転終了後、 食器洗い機のドアを開けたり、 食器を取り出すのが早すぎる。 – リンス剤が入っていないか、 リンス剤の量が少なすぎる。	– 終了のシグナル音が鳴るまで、 食器洗い機のドアを開けないでください。 – リンス剤を補充するか、 リンス剤の量を調節してください。

以上をお調べになって、 それでも不具合がある時は使用を中止し、 必ず専用ブレーカーを「切」にして、 給水バルブを閉めてください。
そしてお買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1.　品　名　　ガゲナウ　食器洗い機
2.　型　名　　DI 260 410
3.　据付年月日
4.　故障の状況 （できるだけ詳しく）

保証とアフターサービス

保証書について

保証書は、 販売店または指定サービス店が所定の事項を記入の上お渡しします。
その際、 必ず「据付日、 販売店名」等が記入されていることをご確認の上、 記載内容をよくお読みになり、大切に保管してください。
●保証期間は据付日から 2 年間です。

修理について

修理サービスを依頼される前に、 18 ページから 20 ページの『故障かな？と思ったら』をお読みになりもう一度ご確認ください。
ご確認になって、 なお異常がある場合は決してご自分で修理なさらず、 必ず販売店もしくはサービス店にご連絡ください。

●保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づき無料で修理いたします。
●保証期間経過後の修理
修理により製品の機能が維持、 回復できる場合には、 ご要望により有料で修理いたします。
●補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
＊性能部品とは、 その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

仕　様

型　式	DI 260 410
電　源	単相 200V　15A 専用回路
周波数	50/60Hz
消費電力	1.7kW
作動水圧	0.05 〜 1.0 Mpa
外形寸法	W448×D573×H815 〜 875（mm）
重　量	45.0 kg

設置についてのご注意

食器洗い機の設置や移転は、必ずお買い求めの販売店、または専門工事店にご依頼ください。
給水や排水、電気接続については、「設置・施工マニュアル」に記載された基準に従ってください。

ご自分での設置・移転や、給水・排水・電気への接続は、感電やその他の事故の恐れがあり危険です。

廃棄処分について

使用済み機器の扱い。

使用済みの食器洗い機を廃棄する場合は、まず使用できないようにしてください。
- 電源から外した後、電源コードを切断し、コードからプラグを切断してください。
- お子様が誤って中に入り閉じ込められてしまうことを防ぐために、閉まらないようにドアを破壊してください。ドアは中から開けることができません。

使用済み機器の廃棄処分

電子および電気製品や機器には、処理や廃棄方法を誤ると人体や環境に害を及ぼす危険性のある材質が含まれている場合があります。
（これらの材質は、機器を正常に機能させるためには欠かせないものです。）
したがって、不要になった機器を家庭ごみとして出すことはしないでください。

- 使用済みの機器は、お住まいのごみ収集センターやリサイクルセンターで処分してください。
- 保管中はお子様への危険がないようにご注意ください。
- 主電源からの電気プラグの取り外しや切断は有資格者が行なってください。
- 誤って使用されることがないように、電源コードは本体側の根元で切断し、プラグも切断しておいてください。

梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用詰物は、廃棄をする際に環境への影響が少ない材質を使用していますのでリサイクルすることができます。
プラスチック素材の包装や発泡スチロール等の梱包材は窒息を招く危険がありますので、お子様の手には触れないよう十分ご注意ください。

消費生活用製品安全法等に基づく
長期使用製品安全点検制度について

本製品は消費生活用製品安全法で指定される特定保守製品です。

■ 特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して重大な危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品にあって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

■ 法定の点検期間が来たら、点検を受けましょう。

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに指定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています。（消安法第32条の14）
  本製品に表示されております点検期間が来ましたら必ず点検を受けてください。

- 法定の点検後も引き続き使用される場合には、こまめに点検を受けていただくことが製品を安全にお使いいただくために必要となりますのでご注意ください。

■ 法定の所有者登録方法

- 特定保守製品の所有者には、この製品の製造（輸入）事業者に法定の所有者登録をすることが求められています。（消安法第32条の8第1項および第2項）
  製品に同梱した「所有者票」にご記入の上投函いただくことで登録が完了いたします。
  登録がお済みでない方や、所有者登録の内容に変更が生じた場合には、速やかに変更登録をお願いいたします。

- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法により安全対策のもとに管理し、法定点検、リコール等製品の安全に関するお知らせをする以外には使用いたしません。

  はがきを紛失した場合、所有者情報が変更になった場合、所有者が変わった場合は下記問い合わせ先に必ずご連絡をお願いいたします。
  ご連絡をいただかない場合は点検の通知をすることができません。

輸入販売元

株式会社　N. TEC
〒651-1411
兵庫県西宮市山口町名来2-23-7
☎ 078-904-3101　FAX 078-904-3102

株式会社　N. TEC　東京支店
〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-8-9　林慶ビル6F
☎ 03-5833-0833　FAX 03-5833-0855

■ 法定の点検のご通知

法定の所有者登録をしていただいた方には、法定の点検通知をいたします。

輸入販売元

株式会社 N. TEC
〒651-1411
兵庫県西宮市山口町名来2-23-7
☎ 078-904-3101　FAX 078-904-3102

株式会社 N. TEC　東京支店
〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-8-9 林慶ビル6F
☎ 03-5833-0833　FAX 03-5833-0855